

代表質問 (要旨)

市議会ホームページにて代表質問の録画配信と会議録を公開しています。詳細は16ページをご覧ください。

会派を代表した議員が、市長の施政方針に対して行う質問を代表質問といいます。令和4年2月定例議会では、市長から令和4年度の施政方針が述べられ、その内容について7会派から質問を行いました。

新緑風会 宮本 正一 議員

令和4年度施政方針について

(質問) ①ICT教育と総合的な学校教育の充実。②スポーツ振興と地域活性化。③カーボンニュートラルの方向性。④本市の企業誘致と観光支援策。⑤行政DXとマイナンバーカードの普及促進などについて市の取り組みを問う。

(答弁) ①指導主事を中心にICT支援員や各校情報推進担当リーダーと連携を図り、組織的に

学びのDXに対応する。②スタジアムの利活用については運営事業者と包括連携協定を締結し、地域活性化に資する取り組みを検討する。③「鈴鹿市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」を策定し、「2050年ゼロカーボンシティ」表明を検討する。④本市の魅力や支援制度を紹介するPR動画を制作し企業誘致に活用する。また、マイクロツーリズムなどを検討し観光産業支援を図る。⑤国の「マイナポイント第2弾」の実施に当たり、引き続き申請支援窓口を開設する。



れいめい 南条 雄士 議員

令和4年度施政方針について

(質問) (1)①犯罪対策について。令和2年度の総務委員会からの提言に従い、自治会などへの防犯カメラの設置補助制度が創設されたが、公園など、生命身体の安全を脅かす犯罪が発生しやすい場所への設置の予算化が見送られたのはなぜか。また、危険走行や迷惑走行、騒音走行などの交通違反を監視できる防犯体制も検討す

べきではないか。(他9項目)

(答弁) 防犯カメラは犯罪抑止に大きな効果がある。令和4年度からは、自治会などの団体が防犯カメラを設置する費用に対し補助制度を創設し、地域の防犯活動を支援していく。今後の防犯カメラ設置の取り組みは、今までに設置した防犯カメラの効果を検証しつつ、本市の犯罪特性について鈴鹿警察署に助言を頂いた上で、公園も含めた有効な設置箇所の検討を行い『大切な命と暮らしを守るまち鈴鹿』の実現につなげていく。



自由民主党 鈴鹿市議団 宮木 健 議員

施政方針について

(質問) 令和4年度の施政方針6つの柱について、それぞれ質問する。大切な命を守る防災力について、市南部地域に新たな分署と天名分団の施設整備を一体化で進めることで消防力の強化を図るとあるが、市全体、特に石薬師、久間田地域における今後の対策について問う。また、障がい者福祉に関して「鈴鹿ハートフル

プラン」の全面改定の取り組みについて、特に、医療的ケア児支援体制の強化について問う。

(答弁) 市北部の消防力強化は、北分署を移転する7分署体制、新たに分署を新設する8分署体制などを検討し、計画的に取り組む。また、障がい者福祉では、医療的ケア児支援で看護職員配置に係る経費について、児童1人当たり6,000円の加算制度を創設する。これにより医療的ケア児支援体制の拡充につなげる。

